





ポリオの現状とポリオ・プラス・ソサイエティについて

2025年1月25日(土)

国際ロータリー第2610地区ロータリー財団委員会 副委員長 石瀬貴昭







## 「ポリオ」という病気

非常に感染力の高い病気

特に感染しやすいのは 5歳未満の子ども

身体のまひを引き起こす 可能性 これまで25億人以上の 子どもにワクチンを投与



## 感染のリスクにさらされているのは?

世界からポリオを根絶しない限り、今後10年以内で、

世界での年間発症例は20万件に上ると予想されています。

ポリオの発症がどこかで起きている限り、

世界中の子どもに感染の危険が及ぶことになります。



## ポリオを地球上からなくす理由

犠牲となる子どもをなくす

子どもの健康を向上

歴史をつくる

未来への投資

医療費の削減



## ポリオの現状

1988年以来、全世界のポリオの症例は99.9%減少しています。現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなっています。

全世界のポリオ症例数はこちら

アフガニスタン

0

野生型ポリオウイルスによる発症件数

2024年: 25 2023年: 06 2022年: 02 2021年: 04 パキスタン

0

野生型ポリオウイルスによる発症件数

2024年: 73 2023年: 06 2022年: 20 2021年: 01



### 【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: GPEI ウェブサイト(英語)

		2024年 1月1日~ 5月21日	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	2	6	20	1
	アフガニスタン	3	6	2	4
非常在国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		5	12	30	6



### 【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: GPEI ウェブサイト(英語)

		2024年 1月1日~ 10月21日	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	39	6	20	1
	アフガニスタン	23	6	2	4
非常在国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		62	12	30	6



### 【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: GPEI ウェブサイト(英語)

		2024	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	73	6	20	1
	アフガニスタン	25	6	2	4
非常在国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		98	12	30	6



# ポリオプラス基金

すべての子どもにポリオワクチンを投与するための活動に生かされます。



ゲイツ財団からの上乗せによって寄付は 3倍となって活動に役立てられます。

#### ポリオ根絶をめざして

私たちは30年以上にわたり、ポリオ(小児まひ)を世界から根絶する取り組みを行っています。1979年、フィリピンで600万人の子どもを対象に実施したワクチン投与活動がきっかけとなり、世界的なポリオ撲滅活動へと発展しました。今日、野生型ポリオウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国を残すのみとなっています。

ポリオを世界からなくすためにご支援をお願いします。



# ポリオ プラス ソサエティ The Polio Plus Society (PPS)

「ポリオプラス」に

毎年 100ドル

の寄付をお約束いただくプログラムです。



ポリオプラスソサエティのメンバーには登録証とピン バッチが送られます。







#### The Polio Plus Society

#### ポリオ プラス ソサエティ参加申込書

私はロータリー会員として、また国際ロータリーの最優先事項であるポリ根絶の支援者として、ポリオ プラス ソサエティ プログラムに参加したいと思います。

#### 第2610地区ポリオプラス委員長

- ・私はここに、ロータリー財団のポリオプラス基金に毎年、年間少なくとも 100米ドルあるいは100米ドル以上寄付することを約束します。
- ・私は、世界保健機関(WHO)がポリオの根絶を宣言するまで、毎年上記の 額を寄付することで、ロータリーが歴史を作ることに協力いたします。

お名前 (漢字)	申込	日付	20 .	•
お名前 (大文字 英字)				
メールアドレス				
所属クラブ名	地區	召		



#### ポリオプラスソサエティへのご登録



google フォームより登録

https://forms.gle/wYan7gohnZKdqhUo8

ご清聴ありがとうございました。